

みやぎ 県政だより

Miyagi
Prefecture
News

11月・12月号 平成27年
11月1日発行

山元町

県の東南端、沿岸部に位置する。イチゴやリンゴの生産、ホッキ貝の漁などが盛んに行われているほか、ホッキ飯やはらご飯、農産物の加工品なども楽しめる。



【坂元神社】巨理重宗の臣、坂元三河俊久が築城した平山城であり、現在は神社となっている。春には桜の名所としても知られている。



【コダナリエ】手作りに“こだわり”、“こだいら”で開催されるイルミネーション。今年は12月中旬から1月上旬まで小平農村公園で開催される予定。

☎090(9749)2549(小平イルミネーション実行委員会)



【歴史民俗資料館】山元町の自然や歴史、文化を学ぶことができる施設。

☎0223(37)0040



【山元町特産“リンゴ”】完熟リンゴはまさに今が旬！蜜がたっぷり入ったリンゴは、パリッとした歯ごたえで、ジューシーな味わい。



シリーズ「復興へ」(山元町)

田所食品(18ページ)

かつてはブドウの産地として知られていた山元町。震災による津波で、山元町は大きな被害を受けました。ブドウを活用した地場産品を製造する田所食品も工場や倉庫、経営者の自宅までも被災しましたが、営業再開を望む多くの声に応え、再建に向けた一歩を踏み出しました。



【山元町ふれあい産業祭】山元町で毎年恒例となっているお祭り。旬のリンゴをはじめとした山元町の特産品や、全国のご当地グルメなどが楽しめる。今年は11月22日(日)に開催。詳しくは14～15ページ「お出かけガイド」へ。

その農地を貸してください!!

宮城の農業の未来のために

皆さんの地域の農業は、5年後、10年後、どうなっているでしょうか？

これまでの農業を支えてきた農家の方々が減少し、地域の農業の存続が危ぶまれています。農業の衰退は、豊かな自然環境や生態系の維持、国土の保全に影響を与え、今の美しい田園風景は大きく変わってしまうかもしれません。

このため、今ある農地を、これからの地域農業の担い手となる専業農家の皆さんや農業法人などに預けて、耕作を続けてもらうことが重要になっていきます。

地域農業の未来のために

「農地集積バンク」が農地の貸し借りのお手伝いをします

地域の農業を今後どう続けていくのか、誰が農地を耕していくのか、といった地域農業の将来像となる「人・農地プラン」の話し合いが各地で始まっています。

この「人・農地プラン」の中で、とりわけ重要になってくるのが、農地をいかに担い手となる農家などに委ねていくかということです。

農地集積バンク利用者の声

私たちの地域、仙台市東部にある井土地区は、震災で大きな被害を受けました。

復旧工事を機に、これからこの地域の農業をどうしていくか、地域の人みんなで話し合いを進めてきました。農地の所有者の方に「お借りした農地をきちんと管理していくこと」、「農地を貸していただけることで、これまでの地域のつながりも守っていけること」を理解していただき、農地集積バンクを活用し、農地をまとめて貸してもらうことができました。

私たち井土生産組合は、地域の方々が働ける場所、いつでも地域の人々が集まれるよりどころとなるよう、頑張っていきたいと思います。



農事組合法人井土生産組合
代表理事組合長 鈴木さん

地域の農業を
将来にわたって守るため
私も農地集積バンクを
助めています。



農地の貸し借りのことなら 宮城県農地中間管理機構にご相談ください。



年も取ったし、
誰かに農地を任せたいなあ...

農地を相続したけど、
自分では耕作できないなあ...



故郷に農地があるけど、
どうしたらいいかなあ...



私たちに
お任せください。

農地集積バンク

※その他の場合でも、農地を
貸したい方はご相談ください。



農地を貸すと交付される経営転換協力金って何？



貸付希望者

農地を機構に貸し付けると30万円～70万円の協力金が受けられるって本当？



農地集積バンク

本当です! 農業を辞める場合などに、貸し付ける農地の面積に応じた協力金が受けられます (いくつか条件があります)。

(平成27年度交付単価)
0.5ヘクタール以下: 30万円、0.5ヘクタール超～
2ヘクタール以下: 50万円、2ヘクタール超: 70万円

☎ 宮城県農地中間管理機構(みやぎ農業振興公社) ☎ 022(275)9192

☎ 県農業振興課 ☎ 022(211)2835 ※各市町村・JAなどにも相談窓口を設置しておりますので、ご相談ください。